

見つけてうれしい、描けて(大変だけれど?)うれしい!

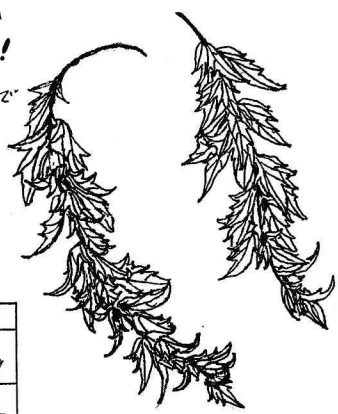
アサミの葉!
海上の森で
スミマセン

※通信No.131 X7マミテ→Oイサミテでした。

おおばこ 植田町の自然探し・175 2019.11.8

全体に、秋の訪れは遅く〜生物層〜

かんさつ種(年)	2014	2015	2016	2017	2018	2019
モズ嘖嘖り	9/5	9/13	9/2	9/9	9/3	8/29
ワズ開花		9/4				9/5
ツルボ開花	8/31	9/7	8/18	9/5	9/3	9/12
ヒガンバナ開花	9/16	9/14	9/9	9/15	9/18	9/18
ススキ開花	9/18	9/11	9/16	9/9	9/14	9/12
イヌナギ開花	10/16					9/25
コカモ初認	10/7		9/27	10/5	9/26	9/25
セイヨウアザミ開花	10/1	10/2	10/1	10/2	10/2	10/2
キヌワセイ開花	9/26	10/16	9/24	10/19	9/20	10/14
			満開			



9月も、10月も、暑い日が続き、秋らしい日が来るのは遅かったですね...。生物層では、ツルボとキヌワセイに、秋の遅れが表れました。開花は例年並のヒガンバナも、彼岸過ぎの25日によやく、花が次々出始めたという感じ。作物も収穫が遅れたそうです。

あの、マニカ家の名前の元に!!

2019年10月7日、尾池近くで拾った虫の死体。オサムミの仲間が、この地域に1いるミカワオサムミとの事。オサムミですか!

植田では、たまに見る位。ミカワオサムミは、赤っぽい色か良く知らぬ。11月か、東三河では、海に近い所は黒色です。



ミカワオサムミ

3cm位

実は、有名なマニカ家の名前の元にもなった虫なんですよ!! 「鉄腕アトム」の作者、手塚治虫さんのハンネムがそうです!!

自生はあすかに。かつては、池の土手などにいくつか見られていた。今、一ヶ所に2株

あるのみです。一方、どこから来たか、庭に生えてきたキヌワセイは、爆発的に増え、今年も沢山、花が咲きました!!



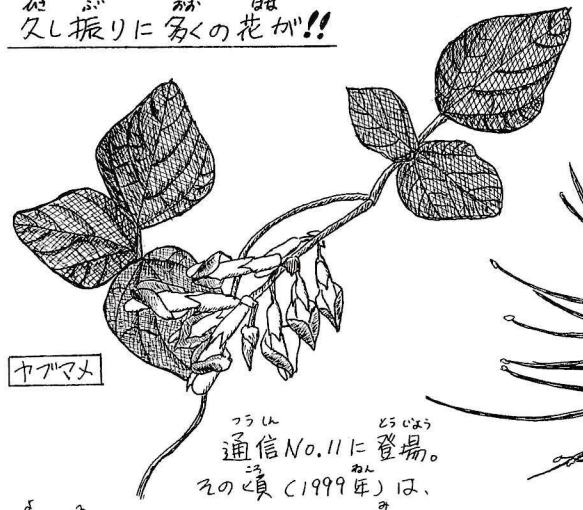
キヌワセイ

外来種に

負けずに...

久しぶりに多くの花が!!

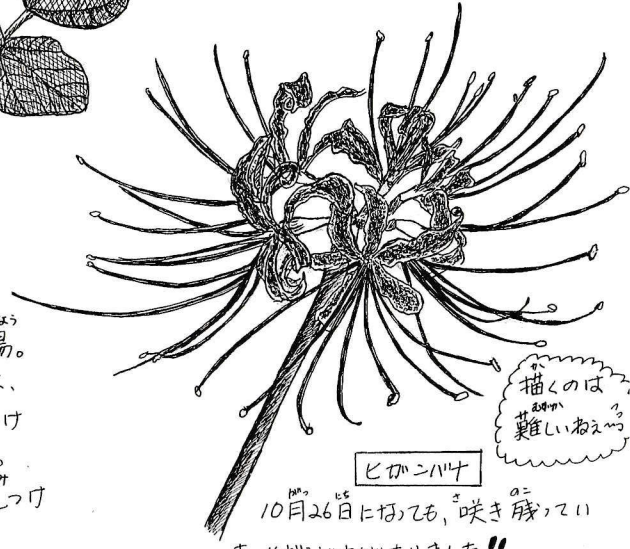
彼岸後に最盛期



ヤブアマメ

通信No.11に登場。その頃(1999年)は、

良く見られたのだから、やがて見かけなくおたな〜と、思っていました。今年、沢山の花を付けたら見つけました。毎が見れ、うれしいです!!



ヒガンバナ

10月26日に初めて、咲き残っていたヒガンバナがありました!!

描くのは難しいね

6日~10日に咲く、ツユクサ。身近なから、そのブルーの花は

ツユクサ

惹かれます。部分帰化(外来)のマルバツユクサや、外来

ハカタカラクサにも負けず、頑張っています。栽培種は、着物の下染めの色に使います。

発行: 牧野 紀子 (もり~ゆ)
豊橋市植田町字南柄沢4 3-2
<http://romendensya.cocolog-nifty.com/2/>
ミカワオサムミについては、瑞崎吉伸さん、豊橋自然史博物館長谷川道明さんにお話を頂戴しました。